

授業改善推進プラン(音楽・図工・体育書式)

教科(音楽)

令和6年度授業改善推進プランの評価

[低学年]身体表現やリズム遊びなど、多様な活動を通じて、音楽に親しむことができた。拍に合わせて手を打ったり、少人数でのグループ活動を通し、友達と関わり合って学習したりすることができた。

[中学年]全領域の学習を通して、「比較する」「言葉や体の動きなどを表す」等の学習活動の工夫をすることで、友達の考え方に触れ、自分の考えをもつことができる児童が増えた。

[高学年]全領域を通して、見通し・振り返りを行う学習過程を考え、学習したことのつながりを明確にすることで理解を深めた。活動の見通しをもつことができる児童は増えた。

実態

[低学年] 意欲をもって音楽活動に取り組むことはできる。自分なりの気付きを得ること、考えを持つこと、音や音楽を表現することはまだ苦手な児童もいる。

[中学年] 常時活動の定着はしている。聴き取ったこと、感じ取ったことなどを書いたり話したりして伝え合うこと、音楽を形づくっている要素の聴き取りが難しい。また、注意の集中を持続することが困難な児童もいる。

[高学年] 音の重なりを感じて演奏することはできるが、知識・理解の既習事項の定着が浅い。曲の特徴にふさわしい表現を工夫したり曲想と音楽の構造との関わりについて理解したりすることが課題。

指導上の課題

- ① 授業でのルールを定着させ、活動に集中できる環境を整える。
- ② 教えること、考えさせることを毎時間明確にし、学びを最後までつなげていくための工夫を行う。
- ③ 考え方や感じ方を広げて深める学習活動を充実させる。

令和7年度の具体的授業改善

低学年	中学年	高学年
<p>① 姿勢、楽器の使い方などを具体的に指導し、良いときの評価をしながら定着させる。</p> <p>② 学習を振り返る場面を設定し、できたこと・できなかったこと、わかったこと・わからなかったことを明確にする。</p> <p>③ 友達と学び合う楽しさを体感できるよう、まねっこ遊びや聴き合う活動、つくる活動の仕方を工夫する。</p>	<p>① 一時間の授業の見通しをもって活動に取り組めるよう、学習のめあてを明確に示す。</p> <p>② 学習の見通しをもつ場面を設定し、何を学ぶかを明確にする。試行錯誤する場面では協働的問題解決ができるようにする。</p> <p>③ 他者の考え方に触れる学習活動をするための学習形態や交流の仕方を工夫する。また、協働する場面を設ける。</p>	<p>① 題材の目標に向かうため、学習内容の見通しをもたせて授業展開を工夫する。</p> <p>② 伝え合う場面を設定し、理解を深める。また、言葉にすることで学習状況を確認する。</p> <p>③ 既習内容を生かし、学習を進めることを実感できるようにする。また、新たな考えに気付ける場面を通し、他者の考えや感じ方を知り、自分の考えや感じ方との相違を理解できるようにする。</p>